



水辺再生100プラン

■ 山ノ神沼／蓮田市貝塚



位置図



事業箇所

事業区間=130.9m

事業概要

事業期間	平成21年度～平成22年度
総事業費	23,727千円
工事延長	延長 L=130.9m
事業内容	開渠工 L=130.9m
平成21年度工事	開渠工 L=68.0m 植栽工 N=7箇所
平成22年度工事	開渠工 L=62.9m 植栽工 N=8箇所

地域の声

水路のゴミの量が減った。
水路の自然環境がよくなった。

事業経緯

- 貝塚地区水辺再生検討委員会
- ・第1回 (H21.6.30)
 - ・第2回 (H21.7.23)
 - ・第3回 (H21.10.21)
 - ・第4回 (H22.3.6)

検討委員会メンバー
貝塚自治会、貝塚悪水路組合、
埼玉県、蓮田市



平成21年度設計 (H21.8～H22.3)
平成22年度設計 (H22.7～H23.3)

地域活動

- ・自治会、貝塚悪水路組合がゴミ拾い、草刈を実施
- ・貝塚地域環境整備組合がリュウノヒゲの植栽活動を実施

平成21年度工事 (H21.11～H22.3)
平成22年度工事 (H22.11～H23.3)

整備の状況

整備前



法面が崩れ雑草が茂っている状況 (H21.6撮影)

整備後



人が水に親しめる水辺空間が創出されました (H22.7撮影)

整備テーマ
ポイント

水や生物と親しむことができ、水際に近づける場所の創出

- ポイント①：自然と触れ合え、利用しやすい場をつくる
- ポイント②：水際に近づきたくなる、良好な水環境をつくる
- ポイント③：農業用水の自然環境と調和した景観をつくる
- ポイント④：生き物が生息しやすい環境をつくる

★：ビューポイント

憩いの水辺空間の創出

清掃活動が終わったあとは、「貝塚地域環境整備組合婦人部」の方々から豚汁がふるまわれ、10月は新米で作ったおにぎりの試食会もおこなわれます



賑わいの水辺空間の創出

整備された法面に、「貝塚地域環境整備組合」の活動としてリュウノヒゲの植栽をしています。



景観を向上させる植栽帯

10m当り1箇所植栽帯を設置し、地被植物「シャガ」「キチジョウソウ」を植えて良好な景観を創出しました。



平面図

安らぎと賑わいの水辺空間

平成23年3月5日に「山ノ神沼敬愛会」「貝塚地域環境整備組合」の清掃活動の際に、水辺再生事業の完了報告をしました。

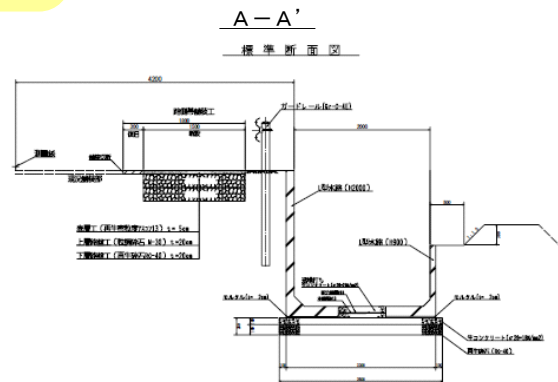


整備された護岸

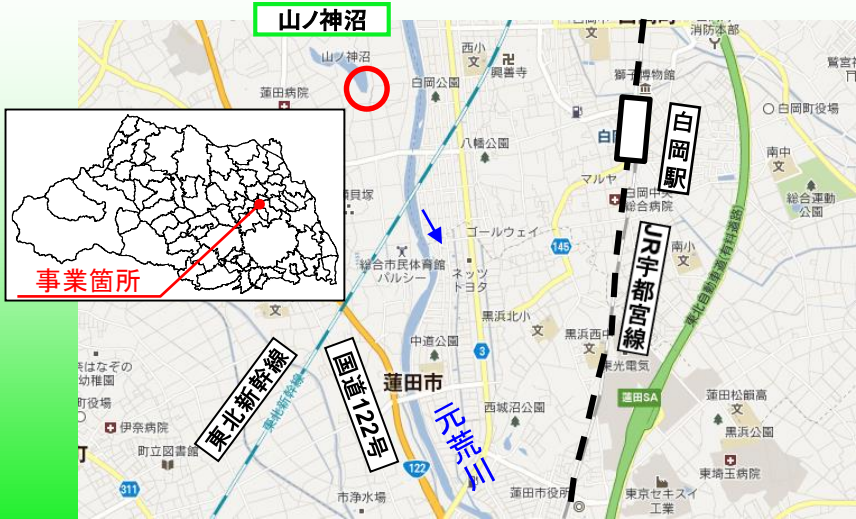
土水路のため堤防侵食が著しかったので、水路改修を進めてアクセスを確保しました。



横断面図



位置図



事業概要

事業期間	平成21年度～平成21年度
総事業費	47,000千円
工事延長	環境整備工事 1式
事業内容	管理用道路A=1,124m ²
	駐車場整備 1式
	植栽工 1式
	湿性植物園工 1式 水路工

地域の声

朝夕の散策がしやすくなった。
自然環境や景観がよくなった。

事業経緯

山ノ神沼敬愛会メンバー
山ノ神沼を守る会、周辺4自治会、

山ノ神沼ワークショップ
・第1回 (H21.4.20)
・第2回 (H21.5.18)
・第3回 (H21.6.15)

工事 (H21.9～H22.3)

竣工式 (H22.3.27)

地域活動

- ・地域住民が月1回除草・美化活動を実施
- ・地元団体が浮島製作に協力



整備の状況

整備前



整備後



整備テーマ
ポイント

水や生物と親しむことができ、水際に近づける場所の創出

- ポイント①：田園景観や水生植物の生息に配慮した水路整備
- ポイント②：水辺とふれあえる遊歩道や植物園の整備
- ポイント③：景観と調和する浮島の整備

★：ビューポイント

水辺とふれあえる湿性植物園

沼を訪れた人が水辺の植物とふれあえるよう湿性植物園を整備しました。ハナショウブ、ハス等の植物が観賞できます。



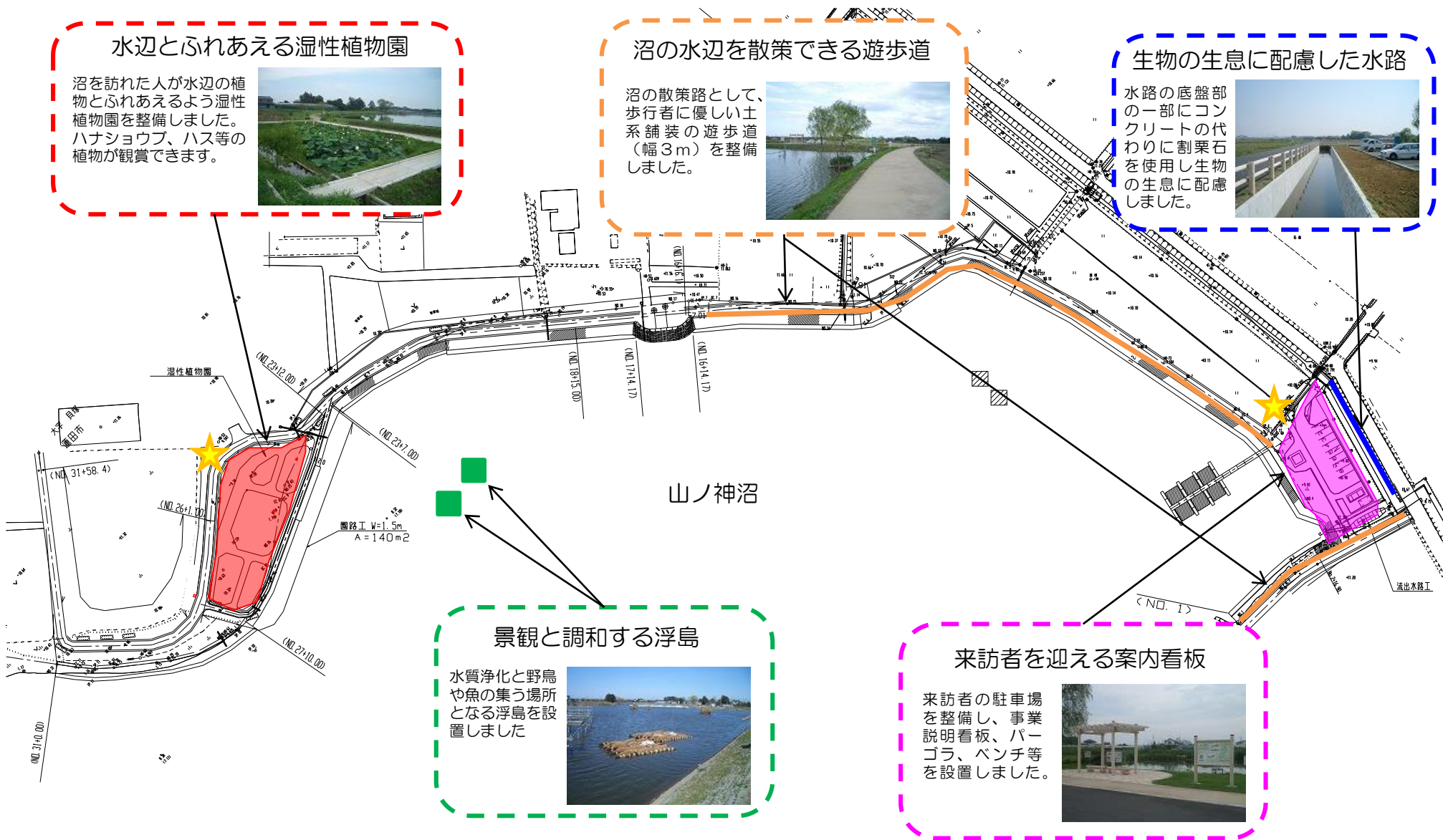
沼の水辺を散策できる遊歩道

沼の散策路として、歩行者に優しい土系舗装の遊歩道（幅3m）を整備しました。



生物の生息に配慮した水路

水路の底盤部の一部にコンクリートの代わりに割栗石を使用し生物の生息に配慮しました。



景観と調和する浮島

水質浄化と野鳥や魚の集う場所となる浮島を設置しました



来訪者を迎える案内看板

来訪者の駐車場を整備し、事業説明看板、パーゴラ、ベンチ等を設置しました。

